

9

いますぐ役立つホームページ

看護関連の文献検索データベース

- 日本看護学会演題の一覧と検索
(<http://www.nurse.or.jp/information/gakkai/endaikensaku.html>)
- 北里大学看護学部図書館雑誌特集記事索引
(<http://bme.ahs.kitasato-u.ac.jp:8080/docs/doi/html/kantoku.html>)

今回は、看護関連の無料の文献検索データベースを二つご紹介します。全てを網羅している完璧なデータベースではありませんが、看護関連の無料のデータベースが少ないなか、貴重な情報源として活用できそうです。

まず一つめは、日本看護協会のホームページ、「わくわくナースネット」(<http://www.group.nurse.or.jp/>)の1メニューで「日本看護学会演題の一覧と検索」です。このデータベースは、正確に言うと“文献”のデータベースではなく、日本看護協会主催の「日本看護学会」の“演題”データベースです。

つまり、雑誌論文の書誌事項データベースではなく、論文発表に関する情報〔演題名・演者(共同演者)名・演者所属・発表領域 etc.〕と、

論文集(各専門領域別、現在は9分野)への掲載の有無(図1)が示されたデータベースです。1996年分から現在までの演題が対象となっています。

ウェブ上では中身の閲覧はできませんが、論文集へ掲載されている演題については、各専門領域別の論文集から発表内容の概要が入手できます。これらの論文集は、学会終了後各演者が提出した集録をまとめたものですが、通常の学会集録よりもかなり詳しい内容です。図表なども含み、通常は1-2ページ(A4用紙サイズ)、多いものでは3-5ページにわたり、かなり具体的な内容を含むものです。

検索画面はとてもシンプルです。“専門領域別演題一覧”と、“演題の検索”の二つのメニューからどちらかを選択します。“専門領域別

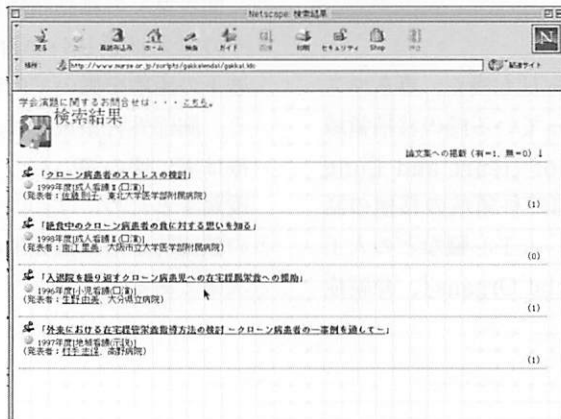


図1. (図3)の空白ボックスに“クローン”と入力して検索した結果

演題一覧”の場合は、各分野別に一年毎の演題に関する情報がリスト表示されます（図2）。一方、“演題の検索”の場合は、キーワードを入力する空白ボックスが表示されるので（図3）、そこに検索したいキーワード（三つまで掛け合わせ可）を入力します。入力後、検索ボタンを押せばキーワードを含む演題が、年代順に表示されます。

このデータベースは、看護研究から臨床まで、幅広く活用できます。例えば看護研究の際、研究者が選んだテーマに関して過去にどのような研究がされてきたか知りたい場合、つまり研究の動向調査に利用できます。また、実際の現場での経験や取り組みをまとめたものが多く発表

されているので、「今、こういう問題をかかえているのだけれど、よその病院ではどのような対処をしているのか、実例を知りたい。」などという相談を受けたときの資料としても提供できます。当院の例で言えば、看護記録用紙の改善・患者の苦痛やストレス緩和への工夫など、日常業務の参考にもなっているようです。

さて二つめは、「北里大学看護学部図書館雑誌特集記事索引」です。

こちらは雑誌関連情報のデータベースですが、個々の“記事”を扱ったものではなく、各号の“特集記事名”を収録したデータベースです。特集記事名・雑誌名・巻・号・ページ（特



図2. <http://www.nurse.or.jp/scripts/gakkaiendai/bunkakai.idc>

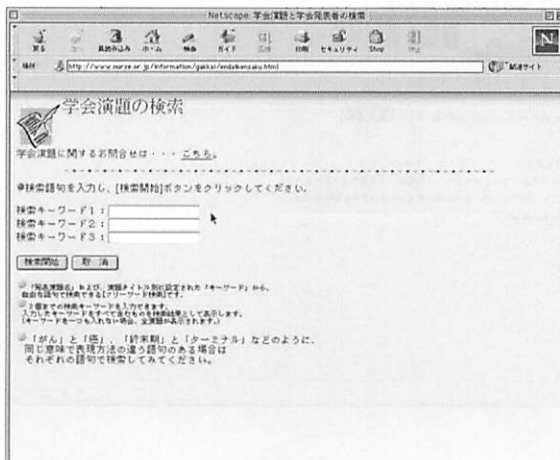


図3. <http://www.nurse.or.jp/information/gakkai/endaikensaku.html>

集記事掲載範囲)・発行年・分類(米国国立医学図書館分類法による)などが検索、閲覧できます。

収録範囲は、北里大学看護学部図書館が所蔵する雑誌で、現在のところは57誌、1980年代のデータも含まれていて、かなりの蓄積量です。

検索画面は、こちらに至ってシンプルです。検索キーワードの入力ボックスは一つだけですが(図4)、入力する文字の頭に記号を付けることによって、一部の検索項目については指定ができます。“[”は雑誌名、“,”は年度の指定 etc.)何も付けずに入力した場合は全項目から検索します。

ちなみに他の和雑誌特集名のデータベースとしては、「とくとくトピック」(株サンメディアの商品)の無料公開版(<http://www.sun-media.co.jp/database.html>)がありますが、あくまで商品版のデモとして無料公開されているものなので、収録範囲が最新1ヶ月分に限られています。この「とくとくトピック」は全体的には非常に便利なデータベースなのですが、「臨床系国内医学雑誌専門」と謳っているように看護分野の雑誌は少なく(純粋に看護を対象とする雑誌は10誌前後)、看護に関して言えば、

データ量は限られています。

「北里大学看護学部図書館雑誌特集記事索引」は、「店頭の看護コーナーに並んでた今月の雑誌で“クローン病”を扱ったものを見たのだが、雑誌名をはっきり覚えていない。」などという相談を受けた時、手軽に探せます。あるいは「○○という事について最近の情報が知りたいのだけれど、簡単にまとめたものはないですか?」と曖昧な情報を求められた時にも、通常特集では、最初に「○○についての最近の話題」とか「○○とは?」というタイトルの記事がある場合が多いので、こういうちょっとした質問に対処する時にも使えます。

「日本看護学会演題の一覧と検索」・「北里大学看護学部図書館雑誌特集記事索引」は、どちらも画面がシンプルで操作が簡単、という点で、コンピュータに馴染みのない看護婦さんにも、とっつきやすいツールと言えそうです。有料の文献データベースの他にもこういうツールがある、という事を頭の片隅に入れておけば、ちょっとした探し物の時に思いがけず活かせるかもしれせん。(文責:須井麻由美)

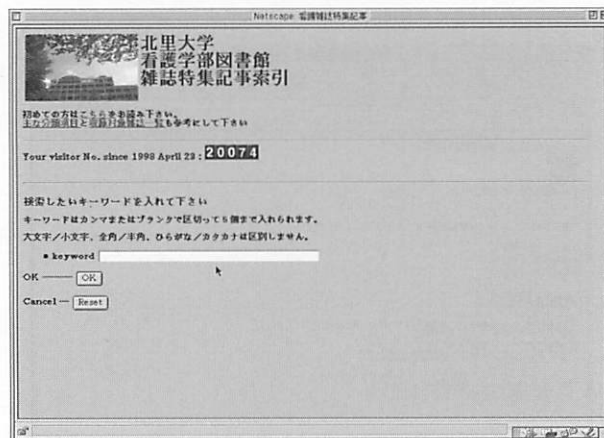


図4. <http://bme.ahs.kitasato-u.ac.jp:8080/docs/doi/html/kantoku.html>